

京都マラソン2019 出場者インタビュー

2月17日(日)に開催される京都マラソン2019。今大会、京都市民から男女各1位～8位を表彰する「京(みやこ)トップ8」が新設されます。

今回、その「京(みやこ)トップ8」の受賞が期待される山科区在住のランナー、藤田達也さん(21歳)にインタビューを行いました。藤田さんは昨年開催された京都マラソン2018で2時間43分29秒の好タイムでゴールされています。

Q 京都マラソンは何回目の挑戦ですか?

昨年に続き2回目の挑戦となります。昨年は、学校のテストや介護福祉士の国家試験等で忙しくしていましたが、その中でも練習を積み、自己ベストを更新することができました。もっと速いタイムでゴールできると思っていたのですが、35km地点を過ぎた辺りでペースダウンしてしまい、一筋縄ではいかない大会だなと思いました。

Q 大会に向けてどのような準備をされていますか?

昨年はまだ学生だったのですが、今回は社会人として、大会に挑むことになります。介護の仕事は忙しいですがなんとか練習時間を確保しようと、職場から家までの6kmほどの帰り道は走るようにしています。

その他には個人的に好きな練習コースである山科疏水沿いを走っています。四季折々の風景を楽しむこともできて、おすすめのコースです。

Q 最後に意気込みをお願いします。

目標は昨年の自分を超えて、自己ベストを更新することです。

大会までもう少しですが、他の大会にも参加しレースの感覚を確かめ、万全のコンディションで京都マラソンに臨みたいです。



京都マラソン2019

2月17日(日)開催

午前8時55分
車椅子競技スタート
午前9時
マラソン・ペア駅伝スタート
午後3時
マラソン・ペア駅伝終了

京都マラソンは「DO YOU KYOTO? マラソン」～環境先進都市・京都にふさわしい大会～「東日本大震災復興支援」～息の長い支援を京都から～の2つをメインコンセプトとして開催しており、今年で8回目となります。

大会当日、マラソンコース周辺で交通規制が実施されます。お出かけには公共交通機関をご利用ください。

問合せ 市民スポーツ振興室 京都マラソン担当(☎366-0314)

あなたの書いた文字が しんぶんの1面に! 作品募集!

市民しんぶん山科区版の題字を書いてみませんか?
あなたの「やましな」の文字が、紙面のトップを飾ります。



- 募集期間** 1月15日(火)～2月14日(木) (必着)
- 募集内容** 市民しんぶん山科区版1面 題字「やましな」(ひらがな4文字)を毛筆(筆ペン可)でお書きください。
- 応募資格** 山科区に在住又は通勤、通学の方
- 掲載作品数** 12作品
(平成31年度市民しんぶん山科区版各月に一作品を掲載)
- 応募方法** 応募用紙*を下記申込先に直接お持ちいただくか、郵送
*応募用紙は区地域力推進室で配布。区ホームページからダウンロード可。
- 審査** 専門家による審査のうえ、3月中旬に結果を郵送でお知らせします。
- 申込・問合せ** 区総務・防災担当(☎592-3065)
郵送先: 〒607-8511 (住所記入不要)
山科区役所地域力推進室総務・防災担当宛

イノシシ・シカに注意してください



- 遭遇したら刺激して興奮させないように、慌てず静かにその場を離れるようにしましょう。
- 住宅街に迷い込んだときは、興奮している可能性が高いので、速やかに安全な場所(建物や高いところなど)に逃げましょう。
- 日中の出没が多くなっていますので、屋外に出る際は細心の注意を払ってください。
- 棒などを使って追いまわしたり、石を投げたり威嚇することは非常に危険です。逆上して人を襲うことがあります。
- 餌付けをすると付近を徘徊する恐れがあるので、エサは絶対に与えないでください。人馴れの原因になります。
また、エサとなるようなものを庭等、屋外に放置しないようにしましょう。食料品等を持ち歩かれる際は十分お気を付けください。
- 身の危険を感じたら110番してください。

問合せ 区まちづくり推進担当(☎592-3088)

第59回 みんなで「第2期山科区基本計画」に取り組もう! 区民活動きずなリレー

花と緑が結び近所の輪 小野芙蓉会



チューリップの球根の植え付け

地下鉄小野駅からほど近い水路脇に、美しく手入れされている花壇があります。管理しているのは地元住民でつくる「小野芙蓉会」。「昔は農業用の洗い場だったらしいのですが使われなくなり、ゴミの投棄が続いていました。」と代表の谷中八重子さん。10年ほど前に谷中さんのご主人が中心となりゴミを掃除して、土地を耕して花壇を作る活動を始めたところ、近所の人の協力が広がり、15人で会を立ち上げることに。続けているうちにゴミの投棄は消えたそうです。「通勤の方も多い場所で、通る方から感謝の言葉をいただくこともあり、やりがいを感じます。」

取材の日は、夏から次々と花を咲かせてきた芙蓉の枝をバツリ剪定し、チューリップの球根を植えるなど、春に向けての準備を行いました。

参加者のお一人、藤原繁樹さんは「力仕事に男手が必要だから来てほしい」と頼まれたのがきっかけで参加し5年ほど経つそうです。「土いじりは気持ち良く気分転換になります。」とのこと。この日が初めてという参加者も含め、20人ほどがおしゃべりしながら作業しました。

活動は月に1回、9時から10時の1時間だけ。「長く続けることが大事なので、できるだけ負担のないように。」と谷中さん。参加の強制はしない、というポリシーで活動し、気づけば会のメンバーは60人になっているそうです。会を続けることで近所さんの顔がわかるようになり、この活動がきっかけで町内会に入ってくれた家もあるなど嬉しい効果もあるようです。花や緑をきっかけにして、コミュニケーションの輪が広がっているようですね。

問合せ 区総務・防災担当(☎592-3066)
(京都市まちづくりアドバイザー 佐藤友一)